

4月

- 4 ● 会派交渉会
- 7 ● ※ICT専門部会
- 8 ● 北海道市議会議長会道西支部会議(恵庭市)
- 13 ● 議会運営委員会、第2回臨時会(議案審議)
- 14 ● 議会運営委員会(議会報)、※議会基本条例素案作成部会
- 15 ● 経済建設常任委員会
- 18~20 ● 経済建設常任委員会行政視察(熊本市)
- 21 ● 議会改革推進協議会
- 22 ● 恵庭市議会文化芸術回廊オープニングセレモニー
- 25 ● 総務文教常任委員会
- 27 ● 第85回北海道市議会議長会定期総会(富良野市)

5月

- 9 ● ※議会基本条例素案作成部会、※女性・青年部会
- 10 ● ※ICT専門部会、議会災害対策会議
- 12 ● 議会モニター意見交換会
- 13 ● ※議員報酬及び定数のあり方検討部会視察(石狩市)
- 17 ● 議会運営委員会
- 18 ● 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会(久留米市)
- 19 ● 熊本市議会へ議長が表敬訪問
- 24 ● ※議会沿革・図書室活性化専門部会、会派交渉会
- 25 ● 全国市議会議長会第98回定期総会(東京国際フォーラム)、福岡県柳川市議会行政視察来恵
- 26 ● ※女性・青年部会
- 27 ● 議会改革推進協議会
- 31 ● 議会災害対策会議

6月

- 3 ● 議会運営委員会
- 6 ● 議場コンサート(試行)、第2回定例会初日(行政報告・議案審議)
- 7 ● 補正予算審査特別委員会
- 8 ● 議会運営委員会
- 9~13 ● 一般質問
- 13 ● 議会運営委員会(意見案調整)
- 15 ● 総務文教常任委員会
- 16 ● 厚生消防常任委員会
- 17 ● 経済建設常任委員会
- 20 ● 基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会
- 21 ● 議会運営委員会
- 22 ● 第2回定例会最終日(審査報告・議案審議)
- 24 ● 山口県和木町長・議長の表敬訪問、静岡県藤枝市長・議長の表敬訪問
- 25 ● 神奈川県横浜市会議長の表敬訪問

7月

- 5 ● 全国市議会議長会第228回理事会、栃木県鹿沼市議会行政視察来恵
- 6 ● 北海道幕別町議会行政視察来恵
- 7 ● 北海道中標津町議会行政視察来恵
- 12 ● 全国市議会議長会基地協議会第103回理事会、※議員報酬及びあり方検討部会、会派交渉会
- 14 ● 山口県山口市議会行政視察来恵
- 15 ● 議会運営委員会(議会報)

※は議会改革推進協議会の専門部会

令和4年 第3回 定例会日程

月 日	主な議会日程	場 所
9月13日(火)	定例会招集日(初日)	本会議場
9月16日(金)~ 9月22日(木)	一般質問	本会議場
9月27日(火)~ 9月28日(水)	決算審査特別委員会 (個別質疑)	市民会館 中ホール
10月 3日(月)	総務文教常任委員会	委員会室
10月 4日(火)	厚生消防常任委員会	委員会室
10月 5日(水)	経済建設常任委員会	委員会室
10月 6日(木)	特別委員会	委員会室
10月 7日(金)~ 10月12日(水)	決算審査特別委員会 (代表質疑)	本会議場
10月14日(金)	定例会最終日(議案審議)	本会議場

上記の日程は8月1日現在の予定です。一部変更になることがありますので議会事務局(TEL.33-3131 内線3211・3212)へご確認ください。

恵庭市議会議場コンサート《試行》を開催

当市議会では、市民の皆様信頼され、より開かれた議会を目指しており、市民の皆さんが気軽に議場にきていただけるような取組として、本定例会の冒頭に「恵庭市議会議場コンサート《試行》」を行いました。バイオリンとバレエが絶妙に溶け込み、優しい調べが議場内を温かく包み込みました。

今回は、第4回定例会での試行を予定し、只今ご出演いただける方を募集しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☆議会事務局：TEL33-3131内線3211・3212



編集後記

今定例会では、初の試みとして「恵庭市議会議場コンサート」が開催された。多くの市民が気軽に議場へ足を運んでもらい、議会を知ってもらうきっかけにという思いから、議会改革の一環として行われた素敵な取り組みだ。引き続き、開かれた議会となるよう検討していく。

議会改革というと、紙媒体をメインとした情報発信から、市議会ホームページや、会派・個人のSNS、会議録検索システムなどをメインに活用していくことにした自治体もある。何かを始めることはもちろん重要だが、何かを「やめる」という決断はそれ以上に難しく重要だ。少子高齢化が進む限り、財源を増やすことは難しいかもしれないが、支出を減らすことは自分達次第な部分が大い。お金に限らず、時間、気持ちなど、何かをやめることで生まれる「余裕」は今こそ重要だ。市民の健康と安心安全のために、市は何を行いたい、何をやめるべきなのか。その見極めは今後より一層重要となる。未来を担う子どもたちが、花と緑のまちに誇りをもって成長できるように今後も尽力していく。

今号が発行されるころには、終了しているであろう「ガーデンフェスタ北海道2022」の成功を祈りながら。

(澁谷 敏明)
市議会たより編集委員会